

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人むそう びゅん長久手		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 1月 23日		～ 2025年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要に応じて、利用者さんが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている。	利用者さんの特性や必要に応じて、個別のお部屋や場所を確保している。 またプログラム作成時に、利用者さん同士お部屋がかさならないようにするなどの配慮をして作成している。	単なる場所の確保だけでなく、お部屋の雰囲気や広さなど、より利用者さんの困りごとに適した環境にできるように整備していく。
2	利用者さんの支援に関わる職員同士のコミュニケーション・連携が出来ている。	定期開催しているミーティングでは日々の支援の振り返りの他、職員の相談事、提案などを積極的に聞き、働きやすい職場作りをしている。 また、個別支援計画の作成会議には利用者さんに関わるほとんどの職員が参加し意見交換をして、共通理解のもと支援の方向性を定めている。	勤務回数が少ない職員にも広く参画していただけるように、ミーティングの日時の調整をしたり、いつでも相談できる体制にしている。 また、各職員の得意な分野を活かして支援の幅を広めていく。
3	利用者さんの特性に応じた支援ツールを作成し、個々に適したコミュニケーション手段を活用している。	個々の特性のアセスメントに加え日々の行動観察をし、利用者さんにとっての分かりやすさを最優先にして個別で支援ツールを作成している。	利用者さんの成長に合わせて、支援ツールを段階的に更新する。またより多くの選択肢から自己決定が出来るようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の活動に参加が出来ていない。地域のほかの子どもとの交流の機会がもてていない。	地域のイベントを把握できていない。 児童館などへお出かけする機会は設けているが、個別対応が適している利用者さんが多いことや、活動場が分かれてしまうことがあり、他の子どもとの交流が出来ていない。	地域のイベント情報を収集し、プログラムに組み込めるものは積極的に参加をする。 また、事業所で開催するイベントを企画し、地域交流の場がもてるようにする。
2	事業所の敷地内に外遊びができる場所があるが、活用できていない。	外スペースの管理をする職員がいないため、整備が出来ていない。	外スペースを管理する担当職員を決め、計画性をもって有効活用できるようにする。 またその際は、地域の物資を使用するように努める。
3	保護者会や保護者同士の交流の機会を設けられていない。	コロナ前までは例年開催を行っていたが、コロナ以降は職員の体制が十分でないこともあり、開催できていない。	新たな職員の確保と過去の資料を確認し、今後開催を検討していく。